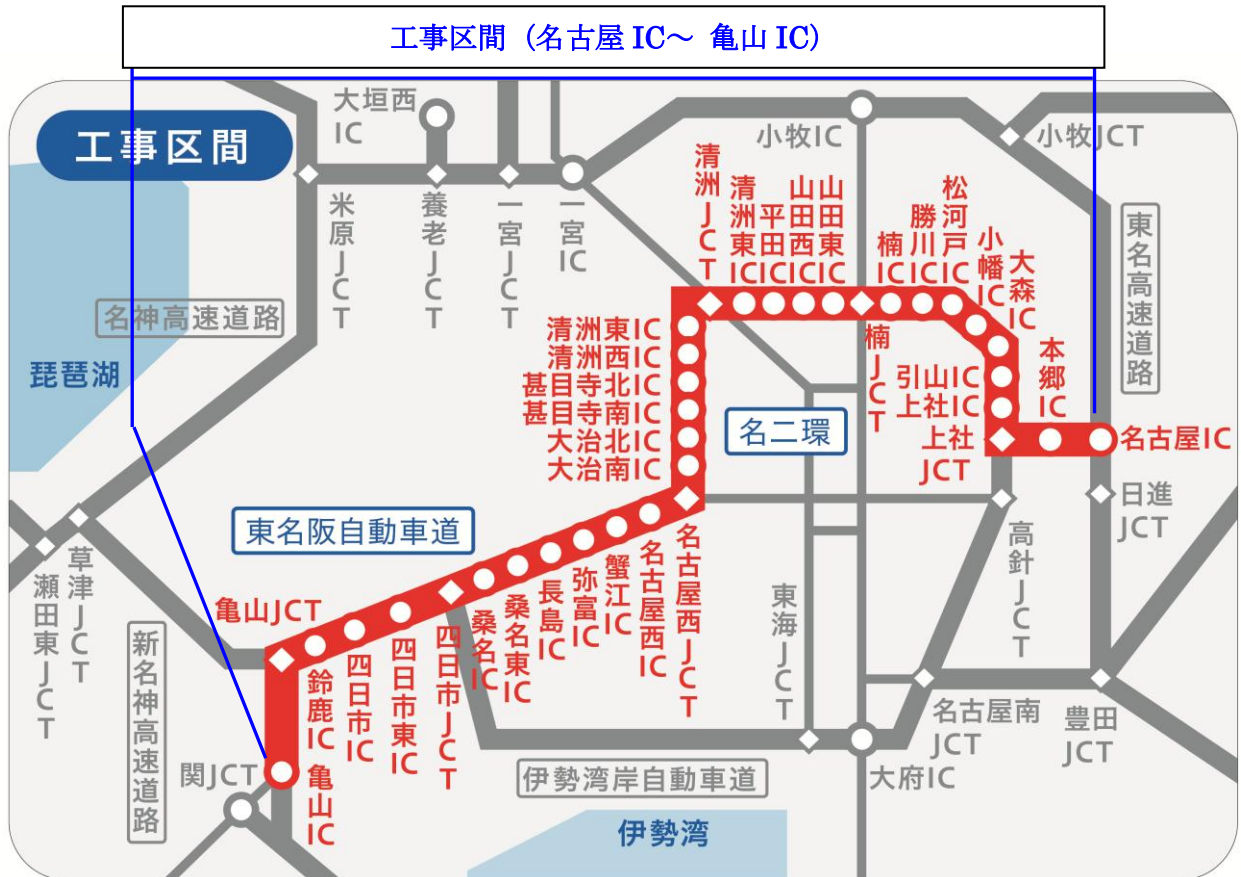


## 2015年 東名阪・名二環リフレッシュ工事 位置図



インターチェンジ (IC) やジャンクション (JCT) を閉鎖する場合は、詳細が決まり次第リフレッシュ工事専用 Web サイト・リーフレットなどでお知らせいたします。

### ※安全性向上 3 カ年計画とは

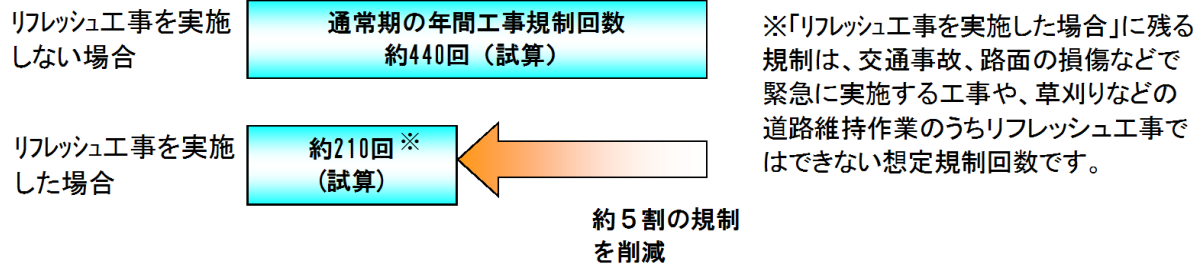
2012年12月2日に発生した中央自動車道笹子トンネル（上り線）における天井板落下事故をグループ社員一人ひとりが深く胸に刻み込み、「二度とこのような事故を起こしてはならない」という強い決意と深い反省のもと、ご遺族の皆さま、被害に遭われた皆さまに真摯に対応するとともに、下記の5つの方針に基づき、グループを挙げて再発防止と安全性向上に徹底的に取り組んでいるものです。

- ① 安全を最優先する企業文化の再構築
- ② 構造物の経年劣化や潜在的リスクに対応した業務プロセスの見直し
- ③ 安全管理体制の確立
- ④ 体系化された安全教育を含む人材育成
- ⑤ 安全性向上に向けた事業計画

## 1. リフレッシュ工事

リフレッシュ工事は、道路を管理するために必要な工事を、短期間にまとめて昼夜連続しておこなうものです。これにより工事の集約化を図ることができ、工事規制回数や渋滞発生回数が大幅に減らせます。東名阪道（名二環含む）では、1995年度に導入し、今回で21回目になります。

年間の工事規制回数（試算：2015年2月時点）



## 2. 主な工事の内容

### ○舗装補修工事

舗装面の凹凸やひび割れなどを補修します。



### ○橋梁補修工事

橋の劣化したコンクリートやひび割れを補修します。



### ○標識落下防止対策工事

道路上に設置された標識などが落下しないように落下防止対策をおこないます。



### ○標識、照明の点検

高所作業車を使って標識や照明を点検します。



### 3. 道路交通情報の提供

#### (1) 工事規制情報のご案内

リフレッシュ工事にあたり、テレビ CM、ラジオ CM、ポスター、Web サイト、横断幕などで、工事期間をはじめ各種情報をお知らせします。また、工事期間中の渋滞状況など交通情報についても、ハイウェイテレホンや Web サイトなどで提供します。詳しくはリフレッシュ工事専用 Web サイト、リーフレットなどでお知らせします。

#### (2) お出かけ前に入手できる道路交通情報

##### ①リフレッシュ工事専用 Web サイト

リフレッシュ工事専用 Web サイトを開設し、工事の概要、所要時間予測、規制情報などをお知らせします。

##### ②日本道路交通情報センターの道路交通情報

道路交通情報 (<http://www.jartic.or.jp/>) や電話で道路交通情報を入手できます。

##### ③iHighway 中日本 (アイハイウェイ中日本)

全国の高速道路交通情報をご確認いただけます。また、通行止めが発生又は解除した際にメールでお知らせする「マイルート機能」などをご利用いただけます。



<http://c-ihighway.jp/>



QR コード

##### ④ハイウェイテレホン

リアルタイムの交通情報 (5分更新) を 24 時間入手できます。

携帯電話から「#8162」におかけいただくと、その場所から最も近い地域の高速道路情報が音声で入手できます。

また、音声によるハイウェイテレホンとあわせて携帯電話の Web サイトでご確認いただける、「目で見るハイウェイテレホン」もご活用ください。

なお、自動車走行中のドライバーの携帯電話の使用は法律で禁止されています。ご利用の際はサービスエリア (SA)・パーキングエリア (PA) にてお願いします。

・東海・北陸地方の高速道路情報

<http://www.highway-telephone.com/>



QR コード

#### (3) 走行中に入手できる道路交通情報

##### ①道路情報板

##### ②ハイウェイラジオ (1620kHz)

##### ③VICS (VICS 対応のカーナビゲーションなどで、道路交通情報が入手できます)

#### (4) 休憩中に入手できる道路交通情報

##### ①ハイウェイ情報ターミナル (SA などに設置)

テレビ画面で、分かりやすくお知らせします。

## ②その他

SAなどのエリア・コンシェルジュでも交通情報をご案内いたします。

### 4. 安全対策および渋滞対策

工事規制箇所・渋滞箇所での注意喚起、連続規制などを実施し、リフレッシュ工事期間中の交通事故防止に取り組んでいます。

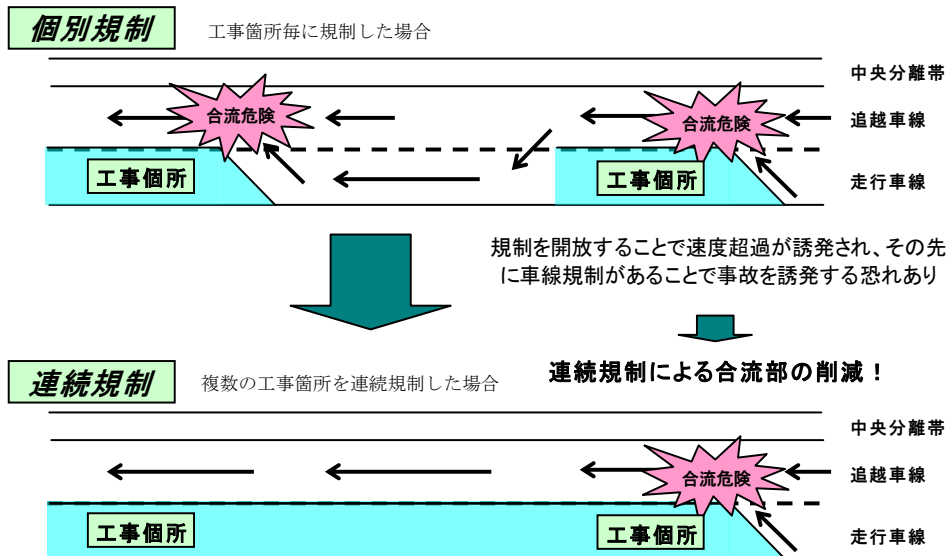
#### ① 渋滞末尾での追突事故防止

渋滞末尾での追突事故を防ぐため、渋滞情報の提供や標識車を規制箇所の手前や渋滞末尾に配置し事故防止に努めています。



#### ② 連続規制の実施

短い区間で工事規制をおこなうと合流箇所が増え、追突事故の要因となります。そのため、工事をおこなっていない箇所でも、連続して規制をおこなう場合があります。



(連続車線規制内のお知らせ看板の例)



## 5. お願い

### ①ゆとりをもったご利用を

リフレッシュ工事期間中は、高速道路や周辺の一般国道などが大変混雑すると予想され、所要時間も通常より多くかかるおそれがあります。ゆとりをもった旅行計画をお立て下さい。

### ②渋滞末尾での追突事故にご注意を

渋滞時には、渋滞の車列の中や渋滞末尾での追突事故のおそれがあります。渋滞末尾に近づいた際にはハザードランプを点灯し、後続車に合図するなどして、追突事故の防止に心掛けて下さい。



### ③ 全席シートベルトの着用を

高速道路上の事故では、シートベルトを着用していない乗員が、衝突の反動で車の外に投げ出されて死亡する場合があります。

運転席と助手席だけではなく、後部座席も含め必ず全席シートベルトの着用をお願いします。(2008年6月1日より道路交通法が改正され、後部座席のシートベルトの着用が義務付けられました。)

